

氏名	加藤 望
よみ	かとう のぞみ
英字	Kato, Nozomi
プロフィール	名古屋市出身, 私立幼稚園等保育職を経て、愛知淑徳大学福祉貢献学部子ども福祉専攻助教の後、現在に至る
職位	現代幼児教育学科 助教
最終学歴	愛知教育大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻 幼児教育領域 博士前期課程修了
学位	教育学修士
所属学会・役職	日本保育学会, 日本乳幼児教育学会, 国際幼児教育学会
専門分野	幼児教育学
研究テーマ	一時預かり保育における保育者の実践的知識に関する研究(研究課題/領域番号 18K13130)
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	<p>【著書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 『絵本から子ども福祉を考える』春風社 2016年7月 『コンパス 保育内容 言葉』建帛社 2016年 『保育の原理』福村出版 2018年 <p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「幼児と保育者の相互受容関係について」愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第5号 2015年 「日本の乳幼児教育・保育における持続可能な開発のための教育（ESD）の現状と課題」愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第6号 2016年 「幼児期の持続可能な開発のための教育の国際的動向」(共著)愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第6号 2016年 「地域型保育事業の実情と課題—事業所内保育事業における実践研究—」(共著)愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第7号 2017年 「父親の自己受容に関する研究:2000年代初頭を対象として」愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第7号 2017年 「保育者養成校におけるアクティブ・ラーニング活用の実態と課題に関する研究—全国保育士養成協議会研究発表論文集を対象として—」(共著)名古屋市立大学大学院人間文化研究科『人間文化研究』28号 2017年 「子ども主体の考え方に基づく環境構成指導の試み—壁面構成作成に関する学生指導の実践的研究—」愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第8号 2018年 <p>【発表】</p> <ol style="list-style-type: none"> 『一時的な保育における子どもの情緒安定を目指して』日本保育学会 第68回大会 ポスター発表 2015年 「2歳児の対人葛藤場面における他者受容に関する研究」日本保育学会第69回大会 口頭発表 2016年 「保育者養成校におけるアクティブ・ラーニング活用の実態と課題に関する研究」一般社団法人保育士養成協議会 第55回 研究大会 共同発表 2016年 「マンガにみる保育者の専門性に関する研究—保育行為に着目して—」日本子ども社会学会第24回大会 口頭発表 (共同)2017年 「The Professionalism of male ECEC teachers in Japanese Manga Culture -A Pilot Study Using Qualitative Visual Content Analysis-」18th International Conference of the Pacific Early Childhood Education Research Association

2017

6. 「一時預かり保育において保育者は子どもの受容にどんな困難や葛藤を抱いているのか」日本保育学会第71回大会
口頭発表 2018年

【社会活動】

1. 尾張旭市 中堅保育士研修講師 2015年度～2017年度
2. 碧南市 公開保育研修/主任者研修講師 2016年度～現在
3. 名古屋私立幼稚園協会 教員研修講師 2018年度～現在